

# 平成16年度財団法人農学会事業計画

本財団の寄付行為に従って、以下の事業計画を立案する。

## 1. 学術研究業績の表彰

- 1) 本財団が主体となる事業：若手研究者に対する顕彰を行うため「日本農学進歩賞」の制度を実施
- 2) 本財団が協賛する事業：アジアの獣医学大学の学部在籍する若手、中堅研究者に対する顕彰を行うため「アジア獣医科大学協議会賞」の制度を協賛

## 2. 農事に関する重要な事項の調査

### 1) JABEE 技術者教育プログラム審査及び審査員養成事業

平成16年度は3校のJABEE技術者教育プログラム（農学一般分野）の審査を実施する予定。

実地審査には審査員養成研修修了者の中から15名～18名をオブザーバーとして参加させ審査員の資格を取得させる。

その他に7月31日～8月1日にかけて弥生講堂においてJABEE審査員養成研修会を実施する。

## 3. 学術講演会の開催

### 1) 本財団が主催する学術講演会

第3回財団法人農学会公開セミナーを夏に、第4回財団法人農学会公開セミナーを冬に開催する予定。

### 2) 本財団が協賛する学術講演会

第26回（春開催）、27回（秋開催）東京大学農学部公開セミナー（東京大学農学生命科学研究科主催）

## 4. 印刷物の刊行（電子情報の提供を含む）

### 1) 第3回日本農学進歩賞受賞者講演要旨集刊行

年1回、300部（約50頁）

### 2) 農学・農学関連分野（農学系学部、学術団体等）の情報発信と情報交換を促進するためホームページの作成、改良、運営等を支援

### 3) 本財団が編集する書籍の刊行を目指す

内容例（食の安全事典、農村の地域資源の新たな活用）

## 5. その他目的を達成するために必要な事業

### 1) 研究棟でもある弥生講堂の運営を専門的立場から支援する

### 2) 弥生講堂で開催される講演会等で使用する機器類の貸出業務